

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [東浦町立緒川小学校] 担当教諭名 [小田 雅] (6年 109名)

相手国・地域 [イギリス]

海外学校名 [Earlsdon Primary School] 担当教諭名 [Rebecca Bollands]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイルについて	15

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	未来への階段 ～つばさを広げ戦争のない自由を～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	持続可能な社会にするために、大きな課題がたくさんあるが、小学生の私たちにもできることがあるということ。それを知った私たちが行動に移していかなければ世界は変わらないということ。
	

■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
海や陸の課題や気候変動についてより詳しく知ることができた。その課題に対して、どのように動けば解決する方向に向かうのか考えた。 相手国イギリスとも、持続可能な社会について、それぞれの意見を出し合えた。	身近にできることの中からできることを実際にやってみたかった。日頃の生活から、SDGsを頭の片隅に入れて校内でもできることを実践すればよかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
イギリスの話題になると、相手校もかな、というつぶやきが聞こえた。	世界の情勢についてアンテナを高くはり、今日本とイギリスがどんな状態にあるのか教師同士でよく話した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	5月	環境問題について調べ、意見を交換し、自分達にできることはなにがあるか考えた。	難しい課題がたくさんあって、途方に暮れていたが、かみ砕いて調べていくと自分達もできることがあることに気付いた。	総合
共有 相手と意見交換	11月	自分達が調べたこと、行動できることをお互いに意見し合った。	自分達の考えを伝えるためにはどうしたらいいか試行錯誤していた。	総合
融合 メッセージ作成	11月	どういう未来にしていきたいか話し合った。	莫大な夢ではあるが、明るく大きな夢を抱いていた。	総合
創造 壁画制作	12月	アイデアを出し合いながら想いを壁画にした	海のゴミや大気汚染などの問題や、平和の象徴、各国の象徴をよく考えていた。	総合
評価 振り返り 自己評価	3月	1年間の活動を振り返ると共に、相手国から返ってきた壁画を見た。	1年間で懐かしく振り返り、完成した壁画に非常に感動していた。	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	イギリスについて調べるとともに、世界各国、日本についてもよく知ることができた。
主体的に考え行動する力	5	一人一人が、環境問題について調べ、お互いに意見を交換し合えた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	初めて知ることが多く、資料について疑問をもつことやもっとうした方がいいという考えを持たせることは非常に難しかった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	イギリスに発信するために、自分達の国や学校の素晴らしさを改めて知ることができた。 イギリスの子と同じ考えを持てたときに、すごく盛り上がった。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	全員がデザイン案を考えた。その中には環境について学んだことが描かれていた。